

新 介護の魅力発信プロジェクト事業

- ・介護の魅力を発信し、①魅力を知ってもらうことで、②介護職を目指す人材の確保を図る。
- ・さらに、③介護職を始めた人が④仕事を続けていくための支援を行い、人材の定着を図る。

現状

- 2025年には高齢化率は33.7%。
- 2025年度は15,126人の職員が必要（2015年度介護職員数11,877人）→ 511人の不足
- 県内有効求人倍率（R1.8）は全職種1.215倍に対し介護職は2.71倍と高い水準

人材不足の要因

- 介護職は重労働・低賃金というイメージが強い。
- 介護職のもつ魅力や専門性がイメージしにくい。
- 誰にでもできる仕事という認識が強く、社会的・経済的評価が低い。

①介護の 魅力を知る

- ・**新**介護魅力発信人材バンクの創設
- ・出張講座等の開催

（対象者）

- ・小中高生
- ・中高年・主婦層
- ・外国人

②介護職を 目指す

- ・マッチング強化
- ・介護職場体験事業
- ・就職フェア・相談会

③介護職を 始める

- ・新入介護職員合同入職式
- ・新卒職員研修会・意見交換会（1～3年目）
- ・**新**中途採用職員研修会・意見交換会

④介護職を 続ける

- ・（人事・労働環境）
- ・**新**認証評価制度
- ・（社会的評価）優良職員表彰
- ・（経済的評価）処遇改善加算取得促進事業